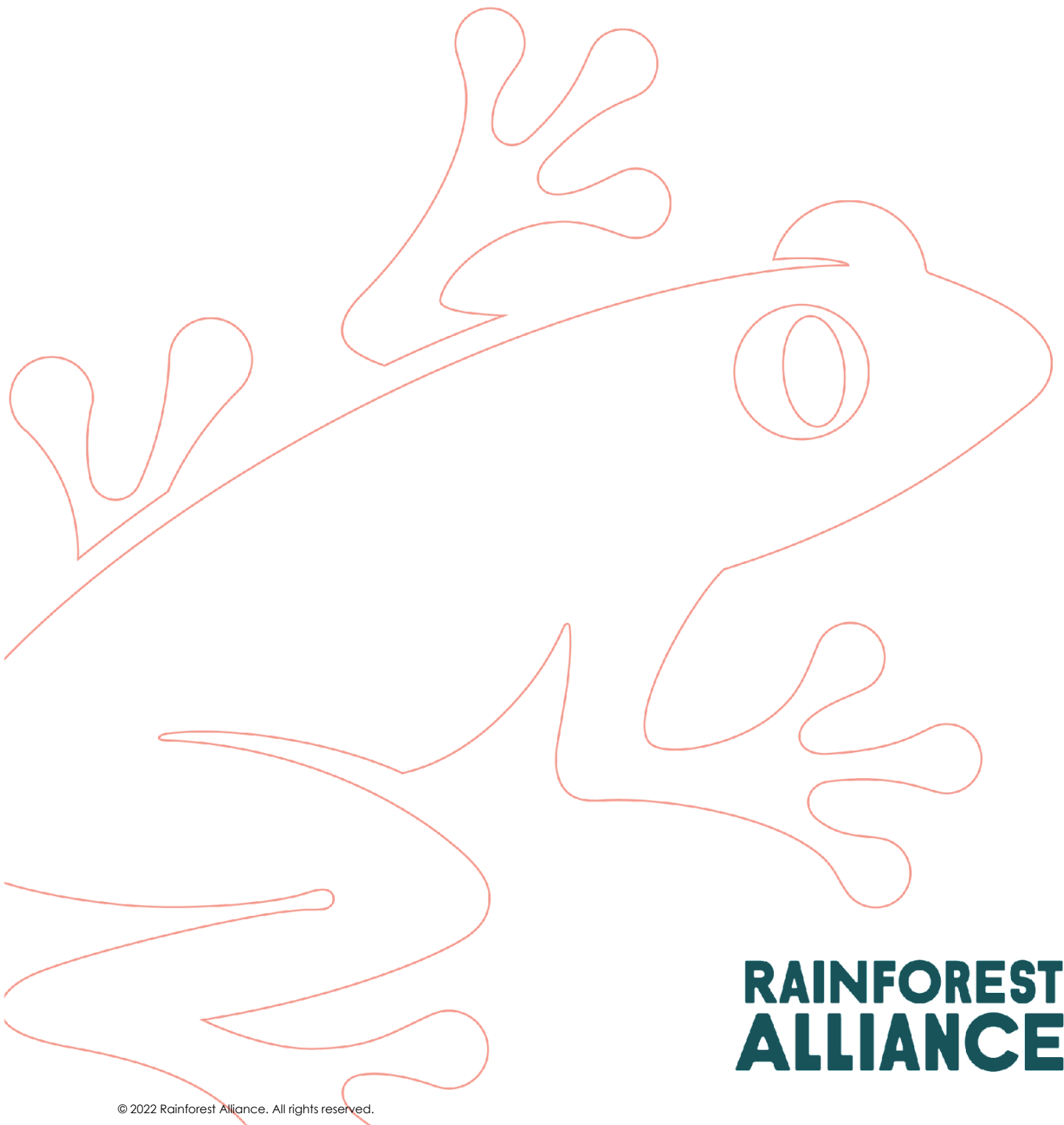


付属文書 S9

報酬および生活賃金との差異を測定する方法

第 1.1 版



**RAINFOREST
ALLIANCE**



翻訳免責事項

翻訳に含まれる情報の正確な意味合いに関する質問がある場合は、公式の英語版を参照してください。翻訳で生じた不一致や差異には拘束力がなく、審査や認証には一切影響しません。

詳細について

レインフォレスト・アライアンスの詳細については www.rainforest-alliance.org にアクセスするか、info@ra.org またはレインフォレスト・アライアンス アムステルダム事務所 (De Ruijterkade 6, 1013AA Amsterdam, The Netherlands) へお問い合わせ下さい。

文書名		文書コード	バージョン
付属文書 S9 報酬および生活賃金との差異を測定する方法		SA-S-SD-10-V1.1JP	1.1
発行日	改定日	拘束力を持つ日	失効日
2020年6月30日	2022年3月15日	2022年3月15日	別途通知があるまでの間
開発者		承認者	
レインフォレスト・アライアンス基準と保証部		基準および保証部ディレクター	
リンク先			
SA-S-SD-1 レインフォレスト・アライアンス 2020 持続可能な農業基準、農場要件 SA-S-SD-9 給与評価ツール SA-S-SD-11 国別の生活賃金水準基点			
関連文書			
SA-S-SD-10-V1 付属文書 S9 報酬および生活賃金との差異を測定する方法			
該当者			
認証保有農場			
国/地域			
すべて			
農作物		組織の種類	
すべて		グループ認証 (大規模農場とグループ管理者) 個別認証	

付属文書には拘束力があり、認証を取得するには遵守しなければなりません。

レインフォレスト・アライアンスの書面による事前の同意なく、本コンテンツを複製、改変、配布、再出版など、いかなる用途にも使用することは固く禁じられています。

本文書は、「IDH 給与評価ツール V.2 ガイド」(2020年6月)をもとに作成されています。



目次

1. **Error! Bookmark not defined.**

目的 4

用語集 4

2. 5

1. 5

2. 5

3. 6

4. 6

5. 8

6. 9



1. はじめに

付属文書 S9 は、レインフォレスト・アライアンス 2020 持続可能な農業基準の農業要件の主要要件 5.4.1 に含まれる 付属文書 S8 生活賃金差異分析のための給与評価ツールの記入方法について説明するものです。付属文書 S8 給与評価ツールは、もともと IDH とレインフォレスト・アライアンスにより、労働者の報酬の総額と生活賃金の基準との間の差異を測定するために開発されたものです。本文書では、給与評価ツールを「ツール」と記載することもあります。

目的

本付属文書の目的は、給与評価ツールを使用する認証保有者に、以下を説明することです。

- ツールで使用される専門用語
- ツールに記入するために必要なデータの種類
- 生活賃金との差異の算出方法
- 生活賃金の一部として含めることができるボーナス、現物給付、手当の例

用語集

以下は、給与評価ツールで使用される生活賃金に関連する用語の主な定義です。基準で使用されるすべての用語の解説は、付属文書 S1 用語集に記載されています。

- **適用賃金**：適用賃金は 1 ヶ月単位で計算される。ほとんどの場合、最低賃金または団体協定（CBA）で交渉された賃金のいずれか高い方となる。最低賃金または CBA で定められた賃金がない場合、適用賃金は現在支払われている賃金とみなされる。
- **賃金総額**：税金やその他の法定控除（社会保障税や保険料、国民健康保険や年金制度への拠出金など）を差し引く前の賃金。
- **ボーナス**：業績／生産性に基づき、追加で支払われる賃金。出来高払いのインセンティブや、設定された生産ノルマの超過分に基づく支払いなど。
- **現物給付**：雇用主から労働者に提供される非金銭的な給付で、生活費を軽減するもの。食事や食料品、住居、交通、育児、子供の教育、医療などが含まれるが、これらに限定されない。
- **支払い単位**：労働者の給与を計算する単位。時間、日、週、2 週間ごと、月ごとなどの時間に関する単位、あるいは kg、束、ヘクタール、箱などの生産単位を使用できる。
- **出来高払い**：作業の成果物に応じて賃金が支払われる方法。作業に費やした時間ではなく、完成した生産単位に基づいて支払われる。単位は、1 キロ、1 箱、1 ヘクタールなど。
- **生産ノルマ**：労働者が基本給／ボーナスの受給資格を得るために、一定の期間（1 日、1 週間など）に完了しなければならない生産単位の数。生産ノルマは、ボーナスの支払いと、ボーナスや手当を含まない、労働者の最低賃金の両方の決定に用いることがある。例えば、多くの茶類生産者には、日当に加え、摘み取った茶類のキログラム当たりの金額が追加で支払われる。
- **報酬**：労働者が特定の期間に受け取る金銭的支払い（賃金、金銭および現物給付）の合計。
- **職種**：スキル、遂行する作業の種類、および給与による労働者の分類。



- **生活賃金**：労働者が標準的な週労働時間に対して受け取る、労働者とその家族が適切な生活水準を賄うのに十分な報酬。¹
- **標準的な週労働時間**：国や業界で標準的な、残業代が発生しない、週（または月）あたりの労働時間。ILO（国際労働機関）の定める標準的な労働時間は週 48 時間。
- **生活賃金の基準点**：生活賃金を賄うのに十分とされる金額。各国の現地通貨で算出される。レインフォレスト・アライアンスは、世界生活賃金連合（GLWC）が策定した生活賃金基準点を採用しており、その内容はレインフォレスト・アライアンス付属文書 S10 国別の生活賃金基準点に記載されている。

2. ツールの記入方法

1. 基本情報

「基本情報」のシートでは次に注意すること。

「認証保有者の名前」は、レインフォレスト・アライアンス認証プラットフォーム（RACP）に登録されている名前と同じものを記入すること。

「担当者」は、ツールを記入する人の氏名を記載すること。

「製品」は、認証を受けた作物を指す。レインフォレスト・アライアンス認証制度の適用範囲の作物であれば、どれでも可。複数の作物の認証を取得している場合、複数の作物を記載することが可能。

「認証と基準」の欄には、ツールに記入した時点で認証を受けている他の基準をすべて記載すること。

「収穫時期情報」には、ツールへのデータ入力の対象となる収穫時期のおおよその日付を記入すること。

2. 職種

ツールには、農場で働くすべての労働者の職種を記載すること（正規労働者、季節労働者、臨時労働者、パートタイム労働者などを含む）。認証製品を扱う労働者と扱わない労働者の両方を含めること。また、業務委託先を通じて雇われた労働者（警備員、清掃員など）も含めること。地域における労働力の交換の一環として、金銭的報酬を伴わず働く労働者は含めない。

職種は、同じ種類の仕事をし、同じ時給／日当、または出来高払い、現物給付を受ける人々のグループで分類する。労働者一名など、小さな単位であってもよい。

注意：労働者が 1 日に、異なる報酬額、異なる時間単価または出来高払いの複数の作業を実施する場合、固有の識別子（名前は不可）を割り当てた別の分類として、ツールに個別に入力出来る。

全労働者の 10%を超える人数が同じ職種に含まれている場合、全体の 10%以下の均等な人数になるよう職種を分割しなければならない。これは、算出された平均賃金が、一人の従業員の実際の賃金と大きく乖離することを防ぐためである。

同じ作業を同じ賃金で行う労働者の間で平均出来高に差がある場合、異なる職種に分割し、1 日当たりの平均生産単位数に基づいて分類しなければならない。例えば、100 人の労働者がいる茶類工場で、30 人の労働者が最終製品の梱包を行っている場合、生産単位数に応じて、全労働者の 10%以下の人数の個別の職種として分けなければならない。

¹ 15 ILO, 2011



職種	労働者の数	単位	単位当たりの賃金	1日当たりの平均生産単位数
梱包作業員 1	10	箱	\$1	50
梱包作業員 2	10	箱	\$1	55
梱包作業員 3	10	箱	\$1	60
職種	労働者の数	単位	単位当たりの賃金	1日当たりの平均生産単位数

様々な業務を行う労働者であっても、報酬、ボーナス、労働時間、現物給付が同じであれば、1つの職種にまとめることができる。

異なる作業場所が混在する場合でも、作業場所ごとに職種を区別する必要はない。例えば、作業場所「農場」として、その下にすべての職種を記載することができる。また、農場によっては、一人の人間が単一の作業場所で作業をするわけではない場合もあるので、その場合も「作業場所」は「農場」と表記出来る。

3. 労働者の数

タブ4「仕事の種類」の一覧には「職種」が自動入力される。このタブでは、仕事の種類ごとの男女の人数を入力すること。この情報から労働者の総数が自動で計算される。

4. ボーナスと収穫期の賃金

職種ごとの賃金を入力すること。これには基本給、ボーナス、平均労働時間などが含まれる。

現金給与総額の月次推移

賃金は、個別の支払い単位に基づき、異なる方法で計算しても良い。すべての賃金データは、（控除前の）総額で集計する。

給与評価ツールにより、平均総月額賃金が算出され、各職種の生活賃金基準点との比較が行われる。賃金データは、典型的な推定賃金を算出するために「単位」に基づいて記載する。作業単位は、労働者への支払いの対象となる出来高である。

生産の繁忙期と閑散期や1年の中での周期など、時期によって賃金が異なる場合、ツールはこれらの個別の生産の「時期」の期間（最大4期まで）のデータを収集し、時期ごとの給与データを収集する。なお、収穫時期によって給与・賃金が変わらない場合は、この区別をする必要はなく、「最初の収穫時期の賃金」の欄にすべて記入すること。



重要なポイント

- 従業員 1 人あたりの平均総月額賃金がわかっている場合は、各従業員や職種の給与の単位を「月」として、直接記載することが出来る。
- 従業員あたりの平均総月額賃金が不明な場合、様々な給与体系に応じて月額賃金を算出する給与評価ツールの計算を適用する。
- 時間ベースの支払い体系では、単位は「時間」、「日」などになり、ツールにより自動的に計算される。例えば、日給 15 ドルの従業員が月 26 日勤務した場合、平均月額賃金は自動的に 400 ドルと計算される。
- 給与評価ツールでは、単位に基づいて賃金データが集計され、それを基に出来高払いの仕事の典型的な一日あたりの賃金が自動で算出される。例えば、梱包した箱の数に応じて支払いが行われる労働者がいた場合、単位は「箱」となる。単位が「箱」の場合で、「単位当たりの賃金」が 0.10 ドル、「1 日に生産する典型的な単位数」が 100 個の場合、1 日の平均賃金は 10 ドルと計算される。

標準的な週労働時間

実際の賃金を生活賃金の基準点と比較するために、正規の労働時間、または標準的な週労働時間で得られた賃金のみを考慮する。これは、生活賃金は時間外労働をせずに得られるべきだからである。したがって、認証保有者は、生活賃金の計算に時間外労働を含めず、正規の労働時間のみを入力し、ツールはそれらに基づいて計算する。

重要なポイント

- 正規の労働時間は、残業代が発生しない、その国で定められた法定標準労働時間に相当する。国が定めた標準労働時間がない場合は、国際労働機関（ILO）の標準労働時間（週 48 時間）が適用される。
- 1 日および 1 週間の労働時間は、従業員が標準的な週労働時間で働いた場合に受け取るべき賃金の計算の基礎となる。そのため、すべての給与体系においてこれらを入力すること。
- 時間単位（時間、月、年など）で支払いが行われる労働者の場合、総賃金を労働日数と時間で割って、時間当たりの賃金を計算する。この金額に正規の労働時間の時間を掛けた標準的な 1 週間の賃金を最も基本的な計算単位とし、1 か月の賃金（ $\times 4.35$ ）、1 年の賃金（ $\times 52.14$ ）の単位が算出される。これらの月や年の数値は、実際に働いた時間とはいえ、1 か月、または 1 年を通して正規の労働時間働いた場合の累積値を示していることに留意すること。
- 正規の労働時間働いた場合に相当する賃金を計算するには、1 日の予想給与総額（1 単位あたりの支払額 \times 1 日の生産単位数）を 1 日の実労働時間で割る。例えば、ある労働者の給与が 100 ドル（出来高払い制など）で、週に 100 時間働いている場合、給与評価ツールでは正規労働時間である 48 時間を適用し、その労働者は 48 ドルの現金賃金を得ることになると計算される。この計算は、職種ごとに実施される。

ボーナス

月次または年次の金銭的なボーナスは、以下の場合に限り、報酬の計算に含めることができる

- 法律で義務づけられていない
- 1 年以内に受け取ったものである
- 定期的に提供されるもので、労働者が事前に予想できるものである
- 残業を必要としない
- 労働者の可処分所得に加算できるものである

年間のボーナスを含める場合、働いた月数で按分する。



対象	対象外
生産量に応じたボーナス	利益分配（事前に保証され、かつ前年度の業績に基づく場合を除く）
13ヶ月目、14ヶ月目の給与	年金または準備基金
在職期間に応じたボーナス、残留特別手当	時間外労働で得たボーナス、または時間外労働に対する支払い
法律で定められた有給休暇に加えて付与される有給休暇	法律で定められた有給休暇（日雇い労働者への支払いは除く）
ホリデーボーナス	年次休暇、病気休暇
祝祭日賞与、誕生日賞与	出産・育児手当金

5. 現物給付 1

労働者が受け取ることができる給付と、雇用主が負担する費用を入力すること。

ステップ 1：現物給付が報酬の対象であるかどうかを判断する。

現物支給は、以下の場合にのみ報酬とみなすことができる。

- 法律で義務付けられていない
- 労働者自身が価値のあるものとして受け取っている
- 労働者の基本的な生活費を直接的に削減している
- 正規の労働時間内に提供されている
- 定期的に提供されるもので、労働者が事前に予想できるものである

現物給付には、食料、交通、家族の住居、医療、子供の教育、保育などが含まれる。

対象	対象外
職場での食事、割引価格で販売される食品、食品引換券	クリスマス料理やフードバスケット、職場の飲料水、レクリエーション施設やその活動、防護服・作業関連服
住居のための現金支給、住居（および水光熱費） ²	季節労働者のための寮またはシェアハウス、家を建てるための土地や、野菜を栽培するための土地
交通サービス（安全で確実なもの）または交通費（通勤）に対する現金支給、帰省のための現金またはその他の手当	祝日 年次休暇 病気休暇
子ども手当、保育所・託児所、労働者の子供の学校、託児所／学校での食事	教育手当/奨学金（多くの労働者が受け取っていて、それが小中学校の学費を賄っている場合を除く）
子供の教育（寄贈された学用品、制服、交通費、その他の品 ³ ）	
医療サービス（法律で義務づけられたものと労働災害に関連するものを除く）、民間医療保険、病院への交通費	労働災害（疾病、怪我）に関連する医療サービス、政府の支援を受けている敷地内の学校または病院
勤怠手当	年金、積立金、謝礼/退職金、ビザまたは労働許可証

² 住居は、持続可能な農業基準 2020 の 5.7 「住宅」に記載されている要件を満たしていること。

³ 学校に直接資金が提供される場合は、まず総額をその学校の生徒総数で割る。算出された生徒一人当たりの金額を、該当の学校に通う労働者の子供全員について記載することができる。他の現物給付とは異なり、子どもの教育に対する寄付金は、年間を通じて使用される商品やサービス（例：年間の学費、消耗品、制服など）に対する寄付であることが多いため、合計した金額を 12 で割る。



基本給

時間外手当、法律で定められた雇用主負担の費用（社会保障、雇用保険、労働者災害補償保険、国民健康保険への拠出）

ステップ 2：金銭的価値を見積もる

現物給付の価値は、雇用主が負担する月々の費用に基づいて計算される。現物給付に対して労働者が費用を（部分的にでも）支払わなければならない場合、労働者の拠出費用が、雇用者の負担費用から差し引かれる。雇用主が以下に記載する手当のいずれかを現金で労働者に直接提供する場合、この現金はボーナスとみなされる。

ステップ 3：ツールに金額を記入する

付属文書 S8 給与評価ツールを使用する際の重要なポイント

- 労働者は現物給付を受けている
 - 受け取る労働者が 1 名のみであっても「はい」と答えることが可能。
- 現物給付を受ける労働者の数
 - すべての職種において現物給付を受けた労働者数の合計を記入する。
- 給付を提供するために雇用主が負担する年間費用。

ステップ 4：給付総額が限度額の範囲内であることを確認する

レインフォレスト・アライアンスの基準では、賃金に占める現物支給の割合の上限を 30%と定めている。現物支給に上限を設けているのは、労働者が給与の使い道を自由に選択できるようにすること、労働者の雇用主への依存度を軽減することが目的である。

賃金の一部を現物支給で提供することが国内法で認められているかどうか予め必ず確認すること。認められている場合、賃金の支払いとして給与評価ツールに記載した現物支給が、**基準で認められている割合の上限を超えていないこと、また国内法で許容されている割合であることを確認する**。特別な状況を除き、国内法で認められている場合に限り、賃金支払いの一部として給与評価に含めることができる現物給付の合計額は、報酬総額（賃金、ボーナス、現物給付）の 30%以下とする。同様に、現物支給の手当は、従業員の報酬総額の 10%以下とする（住宅は、報酬総額の 15%以下とする）。

6. 現物給付 2

労働者一人当たりが受け取った給付の種類を入力する。

結果：

このタブには、調査結果および生活賃金の差異が表示される（自動入力）。

給与評価ツールにより、生活賃金の差異の分析が行われる。算出された報酬は、付属書 S10 に掲載されている該当の生活賃金基準点と比較される。

「月額生活賃金総額の基準点の推定値を入力」の欄には、付属書 S10 に示された認証保有者の所在国の金額を記入する。この欄には、金額のみを記入し、通貨を入力する必要はない。

以下の画像の例を参照のこと。認証保有者がバングラデシュに所在する場合、「13,630」と記入。



Country name	Living Wage Benchmark (local currency, gross wage per month) or applicable wage
Argentina	Applicable wage
Bangladesh	Tk13,630
Belize	Applicable wage

画像 1 : 付属文書 S10、v1.1 からの抜粋